

環境調査結果のお知らせ

令和7年10月1日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラが最高で380 cells/mL、タカヤマ属が最高で3 cells/mL確認されました。また、麻痺性貝毒原因種であるアレキサンドリウム属が最高で1 cell/mL確認されました。シャットネラ属は、警戒基準値（100 cells/mL以上）を超えていますので、十分注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ 属	タカヤマ 属	珪藻	アレキサンドリウム 属
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A 鳴無 (2.5m) 【10:19】	0	27.6	29.1	7.6	0	0	-	0
	2	29.1	31.4	7.3	0	0	-	0
	5	29.0	31.7	1.2	380	3	-	0
	底層	8	28.6	31.7	0.1	3	0	-
B 中学校前 (3.1m) 【10:26】	0	27.4	28.9	7.8	0	0	2,500	0
	2	29.6	31.3	7.3	0	0	1,650	0
	5	28.9	31.6	3.1	0	0	950	0
	10	28.6	31.9	0.1	0	0	60	0
	底層	11.5	28.5	31.9	0.0	0	0	0
C 目ノクソ (3.1m) 【10:38】	0	27.6	29.3	7.8	0	0	3,450	0
	2	28.9	30.9	7.4	0	0	3,800	0
	5	28.8	31.4	5.4	0	0	1,600	0
	10	28.7	31.9	1.4	0	0	140	0
	底層	14	28.2	31.9	0.1	0	0	120
D 光松 (2.4m) 【11:10】	0	27.8	29.7	7.8	0	0	7,400	0
	2	28.5	30.7	7.6	0	0	7,800	0
	5	28.5	31.4	5.7	0	0	3,900	1
	10	28.5	31.9	2.7	0	0	1,020	0
	底層	16.5	27.7	31.9	5.3	0	0	380
E 福良 (2.8m) 【10:50】	0	28.1	29.8	8.0	0	0	7,200	0
	2	29.1	30.9	7.9	0	0	4,800	0
	5	28.8	31.6	4.3	0	0	1,850	0
	10	28.7	31.9	1.0	0	0	220	0
	底層	10.5	28.7	32.0	0.8	0	0	100
F 大鹿 (2.8m) 【11:31】	0	27.6	29.9	8.1	0	0	4,600	0
	2	27.7	30.5	8.2	0	0	7,700	0
	5	28.1	31.3	6.8	0	0	2,600	0
	8.5	27.9	31.7	6.3	-	-	-	-
	底層	10	-	-	-	1	0	750
G 水試小割前 (3m) 【11:20】	0	27.9	29.8	7.8	0	1	7,800	0
	2	28.2	30.7	7.0	1	0	7,800	0
	5	28.5	31.5	4.4	4	0	3,600	0
	10	28.3	31.7	3.6	-	-	-	-
	底層	16	27.9	31.8	5.1	0	0	3,300

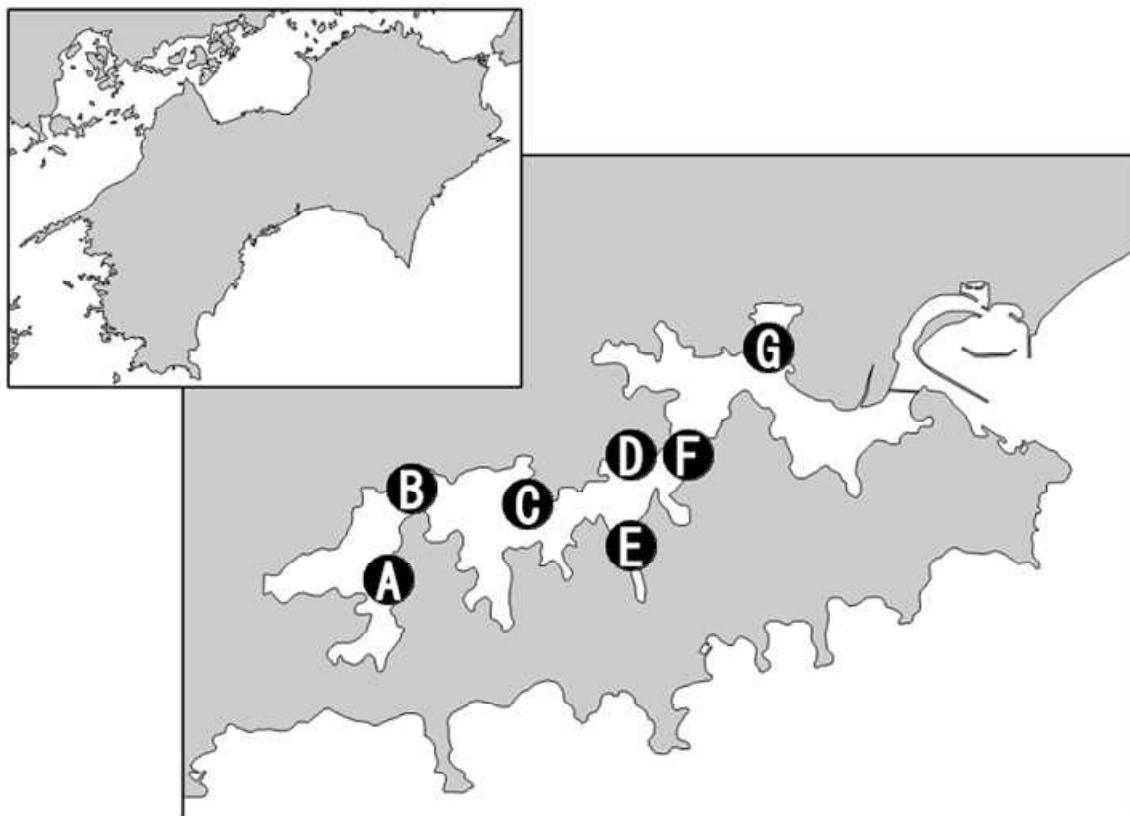
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

C: 目ノクソ

D: 光松

E: 福良

F: 大鹿

G: 水試小割前